

第七十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第一號

付託議案

恩給法中改正法律案

委員氏名

委員長 公爵岩倉 具榮君
副委員長 子爵立花 種忠君
子爵植村 家治君
男爵菊池 武夫君

加藤敬三郎君
赤池 濃君
橋本辰二郎君
平沼 亮三君
山上 岩二君

昭和十四年三月十六日(木曜日)午前十時
十一分開會

○委員長(公爵岩倉具榮君) 是ヨリ開會致
シマス、恩給法中改正法律案ニ付テ政府委
員ヨリ御説明ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(總員詮三君) 只今御審議ヲ御
願ヒ致シマス恩給法中改正法律案ニ付キマ
シテハ、過日本會議ニ於キマシテ法制局長
官ヨリ致シマシテ大體ノコトヲ申上、ダタノ
デアリマスガ、茲ニ改メテ稍、詳細ニ御説明
ヲ申上ゲタイト思ヒマス、今回改正致シタイ

ト思ヒマス點ハ二點アルノデアリマシテ、第
一ハ恩給法ノ第三十二條中ノ改正デゴザイ
マス、現行ノ恩給法第三十二條ニ依リマスル
ト云フト、戰地ニ在ッテ戰務ニ服シタルトキ
ニハ從軍期間ノ一箇月ニ付テ三箇月ヲ加算
シ、都合四箇月トシテ計算スルト云フコト
ニナリマス、又戰地外ニ在リマシテ戰務ニ
服シタルトキハ、其ノ從軍期間ノ一箇月ニ付
テ一箇月半ヲ加算シテ二箇月半ト云フ計算
ニナリマス、即チ一箇月ニ付テ一箇月半加
算スルト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリ
マス、從來ハ是ダケノ加算ヲ致シマシテ、
又此ノ規定デ別ニ支障モナク運用シテ參ッ
ノデアリマス、處方御承知ノヤウニ近年航
空機ノ非常ナ發達ニ伴ヒマシテ、今度ノ支
那事變ニ於キマシテハ、御承知ノヤウニ戰
地外ノ航空基地カラ致シマシテ屢、所謂渡洋
爆撃ガ行ハレルコトナリ、申ス迄モナク
赫々タル戰果ガ收メラレタト云フヤウナ事
情デアリマスガ、之ニ對シマシテ現行恩給
法ノ三十二條、只今申上ゲマシタ法規ヲ適
用致シマスト云フコト、其ノ基地カラ航空
機ニ乗ッテ戰地ノ方ニ出テ參リマシタ者ハ、
第一項ノ第一號ノ方ノ加算ヲ受ケル、即チ

一箇月ニ付テ三箇月ノ加算ヲ受ケルト云フ
コトニナリマスガ、後ニ殘リマシテ、後ニ
殘ルトハ申シマスモノノ實ハ戰地ニ行ク者
ト一體トナッテ戰務ニ服シテ居ル者デアリマ
スガ、其ノ後ニ殘ッテ地上勤務ニ服スル者ニ
對シマシテハ此ノ規定ハ適用シ得ナイ、戰
地外デアリマスカラ適用シ得ナイト云フコ
トニナリマス、二號ノ方ガ適用サレルコト
トナッテ、一箇月ニ付テ一箇月半ノ加算シカ
受ケラレナイト云フコトニナルノデアリマ
ス、併シ航空基地ノ方ハ、今回ノ事變ニ於
キマシテハ幸ニ敵カラ襲撃ハ受ケマセヌデ
シタケレドモガ、其ノ性質カラ致シマシテ
必然ニ敵ノ攻撃目標トナル場合モ多クアリ
マスルシ、又サウ云フ危險ノ外ニ、航空機
ノ戰闘ヲスルト云フニ付キマシテモ、基地
ニ於キマシテノ準備、又航空機ノ整備ト云
フヤウナコトニ從事スル者、即チ地上勤務
者ガ乘員ノ方ト一體トナリマシテ準備致シ
マセスト、十分完全ナ戰闘力ヲ發揮シ得ナ
イト云フコトニナリマシテ、是亦徹宵勤務
スルト云フヤウナ狀態デアリマシテ、其ノ
點ニ於キマシテハ乘員ト地上勤務者トハ殆
ド不可分ノ一體ヲ成シテ居ルト云フヤウナ

狀態デアリマス、デ其ノ勞苦ニ付キマシテ
ハ、地上勤務者ニ於ケル身體能力ノ減耗ト
云フヤウナ點モ、實ハ戰地ニ行ッテ敵ノ上
空ニ於テ戰フ者トサウ大差ナイト云フヤウ
ナ實情ニアルノデアリマスガ、從ヒマシテ
是等地上勤務者ニ對シマシテモ、單ニ戰地
外ダカラト云フヤウナ點ダケデ加算ノ度ヲ
著シク低メルト云フコトガ適當デナイ實情
ガアリマスノデ、之ヲ戰地ノ延長ト致シマ
シテ、場合ニ依ッテ戰地ト云フコトニ
見テモ宜イ位ナモノデアリマスガ、我が國
ノ領土ノ一部分ヲ戰地ニシタト云フヤウナ
コトヲ考フベキデモアリマセヌシ、マア戰
地ニ準ジテ同様ノ加算ヲ之ニ付テ致シタイ
ト云フ譯デアリマス、ソコデ一月ノ勤務ニ
對シテ三月ノ加算ヲスルトコトニ致シタイ
云フノデアリマス、唯斯ウ云フ風ニ航空基地
加算ヲ創設致スト致シマシテモ、具體的ニ
ドウ云フ航空基地ニ付テ此ノ加算ヲスルカ
ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、又其ノ
加算ヲスル期間ヲドレダケニ取ルカ、何時
カラ何時迄ノ期間ニ對シテ斯ウ云フ加算ヲ
スルカト云フヤウナコトニ付キマシテ、之
ヲ漫然ト航空基地デアレバ總テ加算シ、又

事變が續く間ハ全部ニ互リマシテ此ノ加算ヲスルト云フヤウナコトニ致シマスルト、不當ニ多クノ加算ヲスルト云フ結果ニナル場合モアリマスノデ、是等ハ各場合ニ依ッテ事情が異リマスカラ、是等ニ付テハ其ノ時ニ應ジ勅裁ヲ以テ正當ナ所ヲ決メテ行キタイト云フ譯デアリマシテ、法律ト致シマシテハ此ノ案ニアリマスヤウニ、航空基地ノ勤務者ニ加算ヲスルト云フダケノ形ニ止メテ、ソレ等ノ具體的ナ事項ニ關シマシテハ、其ノ都度勅裁ヲ以テ決メテ行クト云フヤウナ建前ニ致シタ次第デアリマス、ソレデ其ノ點ニ於キマシテ恩給法ノ第三十二條ノ方ノ第三項ノ部分ヲ改正シテ、此ノ事モ亦勅裁ニ依ッテ決メルノダト云フコトヲ追加致シタ次第デアリマス、尙此ノ改正ニ依ル所ノ三箇月加算ト云フモノハ、今度ノ支那事變ノ初メニ遡リマシテ附ケテ參リタイ次第デアリマス、ト申シマスルノハ今度ノ事變ニ於キマシテハ航空基地カラスル所ノ所謂渡洋爆撃ヲ行ヒマシタノハ、事變當初ニ於テ殊ニ其ノ活動が顯著デアリマシテ、事變ノ進行ニ連レテ、寧ロ今日ニ於キマシテハソレガナクナッテ來テ居ルト云フヤウナ事情ニアリマスノデ、サウ致シタイ爲ニ附則ノ方ニ於キマシテ、此ノ規定ハ昭和十二

年ノ七月七日、即チ事變ノ勃發當時ニ遡リマシテ適用サレルト云フ風ニ致シタ次第デアリマス、ソレガ改正ノ第一點デアリマス、ソレカラ第二ノ改正ノ點ハ、軍人ノ納メテ居ル所ノ國庫納金ヲ或場合、即チ概括シテ申上ゲマスレバ、戰地ニ出デ居ル人々ノ納金ヲ此ノ際免除シタイト云フ改正デアリマス、恩給法ノ第五十九條ト云フノニ依リマスルト云フト、尤モ此ノ五十九條ト申シマスノハ、昭和八年ニ法律第五十號ヲ以テ改正致シマシテ、ソレ迄軍人ハ國庫納金ヲ致シテ居リマセナシタデアリマスガ、下士以上ノ軍人ニ付テ國庫納金ヲセシメルト云フコトニ致シタノデアリマスガ、其ノ國庫納金ヲ取リマスノハ今日少シ長イ題名デアリマスガ、恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則ト云フモノガアリマシテ、是デ毎月俸給ヲ支拂ヒマス際ニ差引イテ置クト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ト云フ譯デ、今度事變デ戰地ノ方ニ納金義務ノアル所ノ軍人が出征シテ居リマス時ニハ、其ノ俸給支拂ノ時ニ一々、是ハ俸給ノ百分ノ一デアリマスガ、ソレヲ差引イテ軍人ノ方ニ渡スト云フコトニナル譯デアリマスガ、部隊ハ作戰行動ノ關係上一定地ニ固定スル譯ニ參リマセヌシ、又部隊付ノ經理方面ニ居

リマス所ノ擔當ノ人々ガ、是ガ召集ヲ受ケテ行ツタ、申サバサウ云フヤウナコトニ關シテハ非常ナ不慣レナ人が參ッテ居ルト云フヤウナコトモアリ、又送金トカ或ハ納金ニ付テノ諸種ノ連絡ト云フヤウナコトヲ致シタイ所ノ諸部隊ガ、其處ニ通信連絡ノ不能ノヤウナ場合ガ隨分アリマシテ、ソレガ爲ニ俸給支拂自體モ相當困難ナ場合サヘモアル次第デアリマシテ、況ンヤ適當ノ額ヲ納金ト致シマシテ控除スルト云フ事態ハ困難ニナッテ居リマス、又控除致シマシタ金ヲ之ヲ國庫ニ、是ハ結局日本銀行ヘ納入スルコトニナリマスガ、國庫ニ納入シマスコトモナカ、内地デ想像スル程度デナイ所ノ困難ヲ伴ヒマス、デサウ云フヤウナ譯デ、敏活ニ仕事ヲ運ンデ行カナケレバナラス現地ニ於キマシテ、是ガ相當ナ負擔トナリ、經理ガ完全ニ爲シ遂ゲ得ナイト云フヤウナ状態ニアリマス、此ノ納金ヲスル迄ハ俸給ヲ拂ハナイ、拂ッテ、後カラソレヲ控除シナカッタカ、シタトカ云フコトデ、取消ヲシタリスルト困ルカラト云フヤウナコトデ、俸給ヲ拂フノサヘモ非常ニ遅レルト云フヤウナ事情デアリマス、斯ウ云フヤウナ事情カラ致シマシテ戰時又ハ事變ニ際シ、戰地ニ居リマシテ戰務ニ服

スルヤウナ公務員ニハ、此ノ納金ヲ免除シタイト云フノデアリマス、是ハ固ヨリ出征軍人ニ對シマシテ優遇ヲ與ヘルト云フヤウナ意味デハ毛頭ナイノデアリマス、俸給ノ百分ノ一位ノ少額デモアリマスシ、又軍人が金錢ナドノ優遇ノ爲ニ働クト云フヤウナ誤解ヲ受ケマスコトハ、最モ宜シクナイコトデアリマス、サウ云フヤウナ優遇ト云フヤウナ意味デハ毛頭アリマセヌ、全ク官ノ方ノ都合デサウ云フ納金ヲサセルト云フコトガマチ、ソレハ極ク一部分ニハ割合ニ簡單ニ納付ヲサセラルル所モアリマスケレドモ、官ノ都合上畫一的ニ公平ニサウ云フ納金ヲサセラレナイト云フ所カラ參リマス、唯結果ニ於キマシテハ、假令少額ト雖モ軍人ニ多少優遇ノヤウナ形ニナリマスケレドモ、目的ハ固ヨリサウ云フ所ニハナイノデアリマス、併シ結果ハ別ニ大シタ不當ノ結果ニモナリマセヌノデ、此ノ際之ヲ免除スルト云フヤウナコトニ致シタイト云フ次第デアリマス、併シ無條件ニ免除シテ、不當ニ歳入ノ減ヲ來スト云フヤウナ虞ガアツテモナリマセヌ、又此ノ點ハ他ノ公務員トノ權衡上カラ申シマシテモ、權衡ヲ失シナイヤウト云フコトモ考ヘラレマスノデ、一定ノ條件ノアル場合ニ限ッテ免除スルコト

ト致シマシテ、其ノ詳細ハ手續トカ或ハ場

合トカ云フヤウナモノニ付テハ、勅令ヲ以

テ之ヲ規定致シタイト云フ考デ居リマス、

尙此ノ部分ノ改正規定ノ施行期日ヲ、附則

ニ於キマシテハ本年ノ五月一日、年度替リ

ノ四月一日ト致シマセヌデ、五月一日カラ

ト致シマシタノデアリマスガ、是ハ御承知

ノヤウニ今回ノ戦地ガ非常ニ廣大ナ地域ニ

互ッテ居リマスノデ、年度替リ直グカラ施行

スルト致シマシテモ、免除ノ趣旨ガ徹底致

シマセヌデアリマス、ナカ／＼思フヤウ

ニ運ビマセヌノデ、一箇月ノ猶豫期間ヲ置

キマシテ一齊ニヤッテ行クト云フコトノ方

ガ宜カラウト考ヘマシテ、五月一日カラ施

行スルト云フコトニ致シマシタヤウナ次第

デアリマス、大體今回改正ノ二點ニ付キマ

シテ、其ノ趣旨ヲ申上ゲマシタヤウナ次第

デアリマス、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス

○委員長(公館岩倉員榮者) 御質問ゴザイ

マセヌカ

○子爵立花種忠君 昨日ノ本議場ニ於テ黒

崎法制局長官ノ御説明ガアリ、只今ノ御説

明デ略々了承シタノデアリマスガ、現在ニ於

ケル文武官ノ恩給額、總額デスガ、恩給總

額ニ關スル何カ資料ガアリマスルナラバ、

何デアリマセウカ

○政府委員(平木弘君) 資料デ差上ゲルノ

デアリマスガ、此ノ席デ御説明申上ゲルノ

デアリマスガ

○子爵立花種忠君 速記ガ十分ニ間ニ合ヒ

マスルナラバ、此處デ御説明ヲ願ッダケデ

モ宜シイデスケレドモ、斯ウ云フ切迫シタ

時デ、モウ長ク此ノ委員會モアルマイルト思

ヒマス、結局速記ハ間ニ合ハナイ、サウス

ルト御説明ヲ伺ッダケデハ私共書取ルコ

トハ出来ナイ、出来ルナラバ明朝デモ御提

出ヲ願フカ、各委員ノ所ニ速達デ御送リヲ

願ヒタイ、併シ外ノ委員諸君ハサウ云フ御

必要ガナイカモ知レマセヌガ、私ハサウ云

フ風ニ考ヘテ居リマス、如何デゴザイマセ

ウカ

○政府委員(榎貝詮三君) ソレデハ早速取

運ビマシテ、差上ゲルコトニ致シマス

○子爵立花種忠君 委員長ニ御願ヒシタイ

ノデスガ、此處ニ「航空基地」ト云フヤウナコ

トガ出テ居リマス、我々素人デ能ク分リマ

セヌ、無論素人トシテ推測致シテ居ル所デ

ハ、内地トカ臺灣トカ、或ハ滿洲ヲ含ムカ

モ知レマセヌガ、サウ云フ方面ヲ謂フノデ

アッテ、ソレ以外ニ所謂戦地ニ在ル所ノ航

空基地ハ含マナイダラウト思ヒマスガ、陸

海軍ノ當局ニデモ御出席ヲ願ッテ、許セル範

圍ニ於テ御説明ヲ伺ヒタイ、或ハ秘密會ニス

ルナリ、如何デモ宜シイノデスガ、要スル

ニ此ノ度此處ニ出マシタ航空基地ナルモノ

ノ原則ト申シマスガ、サウ云フモノニ付テ

伺ヒタイト思ヒマス、如何デゴザイマセウ

カ

○委員長(公館岩倉員榮者) ソレデハ次回

ノ委員會ニ左様取計ラヒマス

○政府委員(榎貝詮三君) 只今ノコトニ付

キマシテハ、航空基地ノ關係ハ海軍方面デ

ゴザイマシテ、海軍ノ方ヘ只今擔當者ヲ迎

ヒニ參リマシタノデ、多分參ラレルカト存

ジマスカラ、サウ致シマシタラ或ハ今日ニ

デモ委員長ノ許可ヲ得マシテ、秘密會ニデ

モシテ戴キマシテ申上ゲタラト思ッテ居リ

マス

○加藤敬三郎君 チョット私ハ、是ハ至極尤

モナコトダト思ッテ居ルノデスガ、「航空基

地」ト云フヤウニ書イテアルガ、海軍ノ方

ハドウナッテ居リマスガ

○政府委員(榎貝詮三君) 今回ノハ主トシ

テ海軍デゴザイマス

○加藤敬三郎君 海軍デスガ、航空關係デ

バ佐世保ニ行ク、ソレハドチラニ入リマス

カ

○政府委員(榎貝詮三君) 軍艦ニ乗ッテ居

リマス者ハ、矢張り地域的ニ現地ノ方ヘ參ッ

テ居レバ、戦地ニ居ッタモノトシテノ加算

ヲ致シマス、ソレカラコチラニ居レバ、戦

地外トシテノ戦務ニ服シタモノトシテ加算

スルダケデゴザイマス、單位ガ月單位ニナッ

テ居リマスルノデ、月ニ一回デモ戦地ノ方

ヘ參レバ、其ノ月一パイハ一月ニ付テ三月

ト云フ上ノ方ノ加算デ「カバ」致シマシテ、

假令内地ニ歸ッテ參リマシテモ、其ノ月ハ三

月ヲ加算サレルヤウナ月ニナルコトニナッ

テ居リマス

○加藤敬三郎君 ソコデョットナンデスガ、

海軍ノ軍艦ニ乗込ム人間ナンカデモ、矢張り

殆ド狀況ハ同ジナンデスナ航空關係ト……

假ニ佐世保ニ居ッテ、軍艦ハ何時出ルカ分

ラヌガ出テ行ク、航空關係ニ付テ見テモサ

ウダ、矢張り同ジコトダ、ソコラハドウデ

スカ、一方ハ一月半、一方ハ三月、私共モ

出来ルダケ良イヤウナ具合ニシタイト思ヒ

マスガ、其ノ間ノ「バランス」ハドウ取リマ

スカ

○政府委員(榎貝詮三君) 御尤ナンデスガ、

スト、出テ行ク直前色々準備ノ爲ニ忙シイコトガアリマスケレドモ、居殘部隊ト申スノハ純然タル陸上勤務者ニナリマセウシ、後ハ皆軍艦ニ乗ッテ其ノ儘行ッテシマフト云フコトニナリマスカラ、而モ此ノ關係ガ飛行機ノ基地カラ敵ヲ襲撃スルヤウナ場合、數時間前ニ出テ行ッテ、其ノ儘戰ッテ歸ッテ來ル、ソレヲ基地ニ居ル者ガ首ヲ長クシテ待ッテルト云フヤウナ譯デ、夜遅クナッテモ寢モ致サヌ、渡洋爆撃ヲ致シタ場合ニハ、大抵夜分ニ出タサウデス、一時、二時ト云フ頃ニ出掛ケマシテ、サウシテ新聞ニモアリマスヤウニ夜ノ明ケ方ニハ爆撃シテ、サウシテ其ノ儘歸ッテ來ルト云フヤウナ狀態デ、殆ド地上勤務者モ徹夜デ準備モシ、又歸ッテ來レバ直チニ機ノ手入レヲシナケレバナラス、破損ノ手入モシナケレバナラスト云フ狀態ニアル、其ノ關係ハ、軍艦ガ出テ參リ、ソレカラ後ニ準備ヲシテ陸上ニ殘ッテ居ル者トハ、實際ノ度合ハ著シク違ヒマスノデ、海軍方面デモ無論軍艦ニ乗ッテ行ッテ、其ノ後ニ殘ル人ハ戰地ニ出テ行ッテ者ト同ジニ加算シタイト云フ希望ハ、今迄モ全然アリマセヌデシタ、航空基地ニ付キマシテハ、寧ろ場所ノ關係カラ申セバ戰地ニ接近シテ居リマセウシ、又勤務カラ申セバ、

今申シタヤウナ次第デアリマスカラ、是ハドチラモ戰地ト指定シテモ宜イ位ノ實情ヲ持ッテ居ルヤウナ次第デアリマス、只今速記ガアリマスノデ、私モ色々事情モ存ジテ居リマスケレドモ、申上ゲラレマセヌシ、海軍ノ政府委員ガ參レバ、私ヨリカモ直接ニ海軍ノ方面カラ申上ゲル方ガ適切カト存ジマスカラ、御説明申上ゲマセヌデスガ、ソシナヤウナ關係デ餘程實情ガ違ヒマス

○平沼亮三君　チヨット私聽漏シマシタガ、基地カラ戰地ニ出掛ケマスネ、サウスルト月ガ單位ニナッテ居ルノデスネ、一回出マシテモ詰リソレハ三月分ニナル譯デスネ、無論基地カラ出テ戰地ニ行ケバ、モウ是ハ當然戰地ト看做スノデゴザイマセウガ、サウスルト基地カラ出マシテモ必ズシモ戰地ニ行カヌコトガアルノデスネ、サウ云フ時ノコトヲ言フノデセウカ、必要ガナイヤウナ氣ガスルノデスガ、必ズ行クノデハナイデスカ

○政府委員(樺貝詮三君)　ソレハ實ハ運用デ、若シ加算デモ付ケテヤリタイト云フヤウナ積リデアレバ、チヨット飛行機ニ乗セマシテ戰地ニ行ッテ來レバ、一回行ッテモソレデ三月ノ加算ニナッテシマフ、一月ニ一度乗セテ行ケバソレデモ行ケル、加算ヲ付ケ

タイガ爲ニ乗セルト云フヤウナコトハ、是ハ非常ニ面白クナイコトデアリマスルシ、必要ガアッテ乗ッテ行クノハ是ハ別ト致シマシテ、加算ノ爲ニ乗ッテ行クト云フヤウナコトハイケナイと思ヒマスケレドモ、サウ云フ方法ハ無論海軍ノ方面デモ取りマセヌシ、私ノ方デモ嚴ニ、ソレハ無論困ルト云フコトヲ申シテ居リマス、後ニ殘ッテ居ル所ノ、殘ッテ居ルト言フト如何ニモ非常ニ悠ツタリシタヤウナコトデアリマスケレドモ……

○平沼亮三君　基地ニ殘ッテ居ル……

○政府委員(樺貝詮三君)　基地ニ殘ッテ……

○平沼亮三君　戰地ニ行カヌデ……

○政府委員(樺貝詮三君)　戰地ニ行カヌデ、基地ニ殘ッテ居ル、乗ッテ行クモノハ戰地ニ行キマスカラ……

○平沼亮三君　ソレハ當然……

○政府委員(樺貝詮三君)　當然戰地ノ上ニ爆撃シニ、攻撃シニ行ク爲ニ戰地ニ出掛ケマスカラ、三月ノ加算ハ問題ナイ譯デス

○平沼亮三君　問題ハナイ

○政府委員(樺貝詮三君)　ソレハ問題ナイノデスガ、後ニ殘ル者デアリマスガ、後ニ殘ル者ハ準備モ致シマセウシ、何時敵ノ襲撃ヲ受ケルカ分リマセヌカラ、防空ノ爲ニハ徹宵デ警備ヲシテ居ル譯デス、其ノ關係

ハ此ノ内地東京ニ於キマシテモ、能ク防空演習ニ於キマシテ實際配備ヲシタコトモアリマスケレドモ、ソレヲ絶エズヤッテ居ラナケレバ、敵ノ方ハコッチノ航空基地ハ狙ウ所デアリマスカラ、ズツト防空陣ヲ張りマシテ居ル譯デアリマス、サウ云フヤウナ所ハ向フヘ行ッテ現ニ戰フ者トドツチガドツチカ分ラヌデスネ、現實ノ危險ノ分量カラ言ヘバ、乗ッテ行ク方ニ多イデセウガ、勞苦ト云フ方面カラ言ヘバ、又面白味ガ少イト云フ點カラ言ヘバ、コッチノ方ニ居ッテ、後ニ殘ッテ防空ニ緊張シテ徹宵デ準備ヲシテ居ル方ガ餘程苦痛ガ多イノデス、サウ云フヤウナ事情ガアリマシテ、兩者ノ間ヲ區別スルコトガ出來マセヌシ、人ニ於テモ交代スル場合モ相當アリマスノデ、矢張りイザ爆撃スルト云フコトニナレバ、極ク慣レタ者ヲ爆撃ニヤル、地ノ理ニモ能ク慣レタ者ヲヤルト云フヤウナコトニナリマセウシ、練習ノ目的デ乗セテ行クト云フヤウナコトハ、是ハ非常ニ少イダラウト思ヒマス、練習目的デモ矢張り乗セテ行カナケレバ、慣レタ者ガ戰死シタヤウナ場合ニ、直後ノ補充ヲスル場合ニ困ルカラ、サウ云フコトモヤルサウデアリマスガ、サウ云フコトハマアドチラカト言ヘバ、本當ニ攻撃ショウト云フ

時ニハ、本當ニ慣レタ者ヲ使ッテ行クト云フコトニナリマセウシ、片寄ル關係ガアリマスノデ、ドウシテモ後ニ殘ツタ人ニ加算シテヤラナケレバ、實情ニ合ハヌヤウニナッテ居リマス

○平沼亮三君 サウスルト結局基地ト云フモノガ指定サレマスネ、サウスルトモウ其處ニ勤務シタ者ハ總テ其ノ恩典ニ浴スル譯デスカ、サウ見テ宜シウゴザイマスネ

○政府委員(樺貝詮三君) 航空隊ニ屬シテ、航空隊ト一緒ニナッテ居ル者ニ付テハ加算スル積リデアリマス、基地ハ相當廣イノデアリマス、從ッテ其ノ基地ニハ他ノ職員モ勤メテ居ルノモアリマスガ、其ノ分ニ迄ハ及サス積リデゴザイマス、今ノ航空隊ニ屬シ、攻撃ナリ防禦ナリ、サウ云フコトヲ一體トシテ爲ス者ダケニ加算シタイト云フ積リデ居リマス、「特殊ノ職務」ト書キマシタノハ其ノ故デアリマシテ、航空基地ニ居レバ皆同ジク狙ハレル筈デアリマスガ、餘リ擴ゲタクナイ、實際戰場ニ行ッテ戰フ者ト同ジヤウナ事情ニアル者ダケニ付テ加算シヨウト云フノデ制限ヲシマシタ

○加藤敬三郎君 假ニマア日「ソ」ノ間ガナシデ、サウシテ東京ニモ向フノ飛行機ガ飛シテ來ルト云フヤウナコトガアル時ニ、

東京ハドウナルノデスカ、矢張り戰地ト見テ行クノデアリマスガ、基地ノ解釋ニナルノデスカ

○政府委員(樺貝詮三君) イヤ航空基地ニハナリマセヌノデスガ、東京ニ基地ガアルカドウカト云フコトハ、是モ速記ノアル所デハ申上ゲラレマセヌケレドモ、基地ニハナラナイ、東京ノ上空デ戰フト云フ時ニハ戰場ニナリマス、東京ヲ戰場ニシマシタンデハ始リマセヌガ、サウ云フ場合デモ、敵ガ非常ニ優秀ダツタラ入ル譯デアリマス、ソレハモウ現行法ニ依ッテ、勅裁ヲ經テ指定セラレマスレバ戰地ニナルノデアリマス、今度デモ航空基地ニ當ル所ヲ戰地ト云フ風ニ、勅裁ヲ經テ指定致シマスレバ是ハ戰地ニ入ッテ、當然三月加算サレル譯デアリマス、此ノ基地ヲ戰地トシテ勅裁ヲ仰イデ指定スルト云フコトハ、我々國民感情ト申シマスルカ、欲シナイ場所デアリマス、又兩方ガ其ノ土地ノ上デ直接戰ツタト云フコトデモアリマセヌノデ、當然ニドウシテモ戰地ニナツタノダ、或ハ戰地ニシナケレバナラヌノダト云フ關係ニナラナイノデスカラ、ソレヨリハ正々堂々法律ノ方ニ改正ヲ加ヘテ、サウシテ戰地ニ準ジタヤウニ、航空基地ニ付テ加算ヲ認メルト云フ方法ヲ採ツタ

方ガ宜カラウト云フ譯デアリマス、尙基地ニ付キマシテ及ビ渡洋爆撃ニ關シマシテハ、海軍ノ方ノ擔當ノ方ガ見エテ居リマスカラ、委員長ニ御願ヒ致シマシテ、其ノ關係ノ方面カラ御説明申上ゲタガ一番早イト思ヒマス、委員長、實ハ海軍ノ方ガ見エテ居リマス、川崎中佐ガ見エテ居リマスガ、御許シ願ヘレバ航空基地及ビ渡洋爆撃ニ關シマシテノ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○予爵立花種忠君 何レ祕密會ニナルト思ヒマスルガ、其ノ以前ニ簡單ニ一ツ伺ヒタイ、此ノ附則ニ於テ五月一日カラ施行スル、之ニ付テノ御説明ハ先程能ク分リマシタ、唯私考ヘルノニ、茲ニ此ノ改正規定ガ、十二年七月七日迄遡及シ得ル效力ヲ持ッテ居リマス、非常ニ結構デスガ、何故當時七月七日ノ事變勃發、或ハ八月十三日ノ上海事變勃發、其ノ當時ニ於テ、或ハ二三箇月後レルコトモゴザイマセウガ、早ク斯ウ云フ方法ヲ採ラナカッタカ、一年八箇月以上、既ニ二年近クニナル今日ニ於テ此ノ改正法ヲ出サレタト云フコトハ、私ハドウモ少シ……遡及ハシマスケレドモ、殘念ニ思フノデスガ、何カ事情ガアリマシタデセウカ、海軍ノ方トシテ御遠慮ニナッテ居ッタコトデアリマセウカ、ソコ等ノ所ヲ念ノ爲ニ伺ッテ

置キタイ、御話ガ出來マスモノナラバ……

○政府委員(樺貝詮三君) 其ノ點ハ誠ニ御尤ナ御疑問ダト思ヒマスガ、實ハ出來ルダケ現行法デヤッテ行キタイト云フコトヲ、現地ノ方デモ考ヘテ居ッタモノノヤウデス、ソレデ又初メニ於キマシテハ當面ノ戰ト云フ方ニ非常ニ急デアッタ爲ニ、不便ダト思ヒナガラ、法律ヲ改正シテト云フヤウナ所迄思ヒ至ラナカッタト云フノガ實情ナノデアリマス、是デハ不便ダ、是デハドウシテモ困ルト云フコトガ考ヘラレ、又サウ云フコトガ非常ニ言ハレテ知ラレルヤウニナリマシタノハ、去年ノ議會ノモウ濟ム時分ニナッテシマッタ頃デシタ、其ノ以後トスレバ今度ノ議會ヲ待ツノガ至當デ、是ガ爲ニ臨時議會ヲ御召集願フト云フヤウナ事柄デモアリマセヌシ、緊急勅令ヲ出スト云フヤウナ事柄デモアリマセヌノデ、今日迄持ッテ來テシマッタト云フノガ實情デゴザイマス、是ハ主ニ納金ノ方ハ、海軍ト云フヨリ陸軍ノ方ガ主デアリマス、陸軍ノ方ガ大體初メノ中ハ天津トカ或ハ北京トカ云フヤウナ所デ、比較的入口デ戰ッテ居リマシタノデ、マダ、故障ノ程度モサウヒドクハナカッタノデアリマス、其ノ内ニ戰場ガ擴大シテ參リマシテ、或ハ山西ニ行キ、或ハ南京ニ擴ガル

ト云フヤウナ譯デ、漢口ニモ及ブト云フヤウナ工合ニ、戰場ガウント擴ッテ參リマシタノデ、ドウシテモイケンイト云フコトガ全面的ニ起ッテ參リマシタ、サウ云フヤウナ事情デ事變ノ勃發直後ニ於キマシテハ、其ノ後ニ於ケルガ如クサウ廣イ範圍デ不便サハ感じナカッタ、從ッテ一部ニ於キマシテハ是デハ困ル、不便ダト云フ考ガアリマシテモ、ソレガ全面的ニドウシテモ法律ヲ改正シテ行クト云フヤウナ所迄參ッテ居ラナカッタ中ニ、議會ガ昨年ハ濟ンデシマッタ、サア非常ニ戰地ガ擴大シテ、ソレヲ痛感シテ來タト云フ頃ニハ、今度ノ議會迄待ツヤウナ相當ノ期間ヲ經ルヤウニナッテ來タノガ實情デアリマシテ、其ノ他ニハ特別ノ事情ハアリマセヌ

○赤池濃君 其ノ問題ニ關聯シテ伺ヒタイノデスガ、先程カラ段々御説明ヲ承ッテ見マスト、五十九條ノ改正ハ全ク手續上ノ問題デアリマスカノヤウニ心得テ居ル、御説明ノ趣旨ハ分リマシタガ、法文ヲ見テ見ルト、ドウモサウ思ハレナイノデス、手續ガ面倒臭イカラ斯ウ云フ風ニシタイトハ思ハレナイデ、軍人ヲ優遇スル意味ノヤウニ常識的ニ解サレルノデス、私ハソレニ付テ疑問ヲ持ッテ居ルノハ、今度ノ戰爭ニ付テハ軍人ノ

戰爭バカリデハナイ、國民全體ノ戰爭ダト云フコトヲ政府モ盛ニ高調シテ居ル時ニ、特ニ此ノ軍人ダケニ向ッテ斯ウ云フ優遇トモ言ヒマスカ、特典ヲ與ヘルヤウナコトヲスルト云フト、軍人ト普通ノ文官、ソレカラ一般ノ人ニ對シテ、一種ノ何か斯ウ不釣合ノヤウナ感じヲ與ヘル虞ガアルト思フ、ドウモ國民全體ノ戰爭ダ、斯ウ云フ建前ノ今日ニ於キマシテハ、ドウモ此ノ氣持ガソレニ何かソグハナイヤウナ嫌ガアッテ、妙ナ感じヲ起シハシナイカト思フヤウナ虞ガアルト思フ、ダカラ是ハ削除サレルト云フヤウナ御意思ハナイモノデスカ、ドウデスカ

○政府委員(總員詮三君) マアサウ云フ風ナ御見解ト申シマセウカ、虞モ多分ニアリマスノデ、衆議院ニ於キマシテモサウ云フ理由ニ出發シタノデハナイノダト云フコトヲ屢、申上ゲテモ居ッタノデスシ、又是ハ軍人トハ申シマスケレドモ、此ノ中ニハ召集デ行キマシタ文官ヤ、地方ノ學校職員デアッタトカ云フヤウナ者モ澤山アリマスノデ、軍人ハ軍人ニハ違ヒナイノデスケレドモ、所謂軍人ト申シマセウカ、現役ニ居リマス軍人ト違ヒマシタ軍人ガ俸給ヲ貰ッテ行ッテ居リマスノデ、其ノ方カラ納金スルヤウナ人モゴザイマス、向フデ俸給ヲ支拂フト云フ

ノモアリマス、ソレ等ヲ通ジマシテ、軍人ナラバ誰モ彼モ納金ハ免除スルト云フ趣旨ヂヤ無論アリマセヌノデ、軍人ノ中デモ免除シナイ者モアル、戰地ナドニ行ッテ居ル者ハ免除スルト云フヤウナ譯デ、畫一ニ軍人ダケヲ免除スルト云フ譯デモアリマセヌ、是ハ法律案ノ理由書ノ方ハ別ニ天下ニ公表サレル譯デモアリマセヌガ、理由書デハ手續ノ關係デ納金ヲ免除スルト云フコトハハッキリ申シテ居ル譯デ、軍人ヲ優遇スルノダカラト云フ趣旨ハ毛頭加ヘテ居リマセヌケレドモ、是ハマア議會ニ對スルダケノ關係デ、天下ニ公表サレルモノデナイノデスカラ、今ノ御心配ノヤウナ點ハ確カニアリハシナイカトモ考ヘラレルノデハアリマ

スノデスガ、何分ニモ先程來申上ゲマシタヤウナ譯デ退ッ引ナラス、ソレガ爲ニ俸給ノ支拂モ當務者ハ差控ヘテ居ルヤウナ事情サヘモ出テ參リマシテ、ドウモ取レルモノナラ取ッテ宜カラウ、取レヌモノハ取ラナイデ置ケト云フヤウナ風ニ、其ノ支拂官ニ勝手ニシテ置ケト言フ譯ニモ無論參リマセヌ、ドチカラニ一樣ニ取扱ハナイト不公平ニナリマスノデ、斯ウ云フ法律デ一樣ニ免除スル方ニ行キタイト云フ考ナンデアリマス、御趣旨ノ所ハ誠ニ御尤デアリマスガ、是ハ

ドウモ到底撤回スルヤウナ今事情ニハアリマセヌノデ、何トカサウ云フ風ナ國民間ノ感じト申シマセウカ、思ヒ違ヘラレナイヤウナ工合ニ、其ノ方法ハ有ラユル機會ニ講ジタイトハ考ヘテ居リマスケレドモ、此ノ案自體ハ是非デ御承認願ヒタイト考ヘテ居リマス

○赤池濃君 御説明ノ趣旨ハ分リマシタケレドモ、ドウモアレデスネ、御話ハ大分解釋論ニナッテ來マスケレドモ、法文全體カラ見ルト云フト、ドウモ御話ノヤウナ風ニ思ハレナイ懸念ガアル、又手續ハ大變面倒ダト云フノデスガ、ドウモ大事變ニナッテ來ルト、何トカ便法ヲ講ジナケレバナラス必要ガアリハシナイカト思フノデスガ、俸給支拂ニ對スル何トカ便法ヲ考ヘテ不便ヲ除クト云フヤウニ、其ノ方ハ別ニ考ヘタラドウデスカ、サウ云フコトハ出來ナイモノデスカ

○政府委員(總員詮三君) 此ノ支拂ニ關シマシテハ相當便法モ講ジテ居ルヤウデアリマス、現地ニ於キマシテ……、ソレカラアレハ會計法ノ方ノ一部ノ改正ガ確カ出デ居ル筈デ、マダ貴議院ニハ廻ッテ參ッテ居ラヌデゴザイマセウガ、戰地ニ於キマシテノ會計取扱方ニ關シマシテ、極ク最近一週間

バカリ前デシタガ、私等ノ所デ審査シテ手
許ヲ離レマシタ法律案ガアリマシテ、多少
ノ便法ハ講ズルヤウニハ致シテ居リマスガ、
ソレデモ到底賄ヒ切レナイノデアリマス、
是等ノ實情ニ付キマシテハ、尙是モ委員長
ヨリ御許ヲ得レバ陸軍ノ當局ノ方カラ、其
ノ實際ドウ云フ風ニ俸給モ支拂ハレ、又ド
シナ風ニ納金ナドモ取扱ハレテ居ルカト云
フ實情ヲ申上ゲタイト思ッテ居リマス、サウ
致シマスト事情ガ御判明願ヘルカト思ッテ
居リマス、是亦委員長ノ方ニモ御願ヒ致シ
マシテ、陸軍ノ方ノ政府委員カラ、其ノ事
ヲ御説明申上ゲタイト考ヘテ居リマス

○子爵植村家治君 今回ノ改正ノ此ノ條文
ニ航空部隊附ノ所謂「航空基地ニ於テ」ト云
フ特ニ此ノ航空基地ノミヲ掲ゲラレテ居ル、
他ニマダ斯ウ云フ似寄ツタ、例ヘバ砲工部隊
ガアツテ、其ノ砲工機ヲ準備スル砲工基地ガ
アツタ場合ニ、矢張り同ジヤウニ、兎ニ角先
程政府委員ノ御話ノヤウナ色々ナ事情ガ伴
フ、サウ云フ場合ニモ矢張り色々ノコトヲ
御考慮ニナラナクチヤナラナイト思フノデ
スガ、特ニ其ノ航空部隊ノミト云フコトヲ
此ノ法文ニ御掲ゲニナツタ理由ハ、矢張り此
ノ航空ノ戰鬪ト云フモノニ對シテ非常ナ危
險ガアル、是ガ特ニ優遇ヲシナクチヤナラ

ス、所謂法文ニ航空部隊附ノ何々ノ者ト云
フヤウナモノヲ掲ゲテ、條文上ノ待遇方法
ヲ定メラレタ、其ノ御考ヘカラ斯ウ云フ御
改正ニナルノデスカ、私思ヒマスノニハ、
斯ウ云フ航空部隊トカ、色々ナ戰爭ニハ部
隊ガアリマセウガ、此ノ三十二條デスネ、
改正前ノ三十二條ノ一番末項ノ「戰爭ノ期
間及地域、戰務ノ範圍並戰爭ニ準スヘキ」是
等ノモノヲ勅裁ヲ以テ定メラレ、バ、斯ウ
云フヤウナコトハ全部適當ニ行政上御ヤリ
ニナリ得ルノデハナカラウカ、斯ウ思フノ
デス、特ニ改正サレタノハ、斯ウ云フ航空
部隊ト云フ風ニ、條文ニ特ニ設ケテ、先程
申シタヤウナコトヲ一般ニ知ラシメル趣旨
カラ御改正ニナル御趣意ナンドスカ、ソレ
ヲチヨット承リタイ

○政府委員(總員詮三君) 航空部隊ニ屬ス
ルト云フコトヲ特ニ書キマシタノハ、是ハ
航空部隊以外ニ公務員モ航空基地ニハ澤山
居ルノデゴザイマス、サウシテ戰務ニモ服
シテ居ル者ガアルノデ、其ノコトハ只今航
空基地ノコトヲ申上ゲテ、軍ノ方カラ御聽
キヲ願ヘバ、ソレデア、成程ト領イテ戴ケ
ル場所ナンデゴザイマス、ソレデ外ノ部隊、
或ハ外ノ公務員ガ居ラナイヤウナ基地モア
リマスケレドモ、澤山ニ外ノ公務員ノ居ル

基地モアリマス、ソシナヤウナ關係カラ航
空部隊ニ屬スルダケヲ採リマシタノハ、只今
申上ゲマシタヤウニ是ガ其ノ乘員ノ方ト一
體ニナリマシテ、愈々出掛ケルナラ出掛ケル
前ノ準備ト云フモノハ、行ッテ實際戰ツテ來ル
間ノ時間ナドヨリカズツト餘分ニモ掛カル、
其ノ間本當ノ不眠不休、私モ現地ノ方モ航
空隊ナドヲ少々歩イテ參ッテ經驗モアリマス
ガ、全ク其ノ準備ヤナドノ方ガ、現實ニ行ッテ
戰ツテ來ルヨリモ、時間ナゾハ多ク掛ル狀態
ニナツテ居リマス、ソレデ航空部隊ニ屬スル
其ノ他ノ何ト申シマセウカ、航空ト云フモ
ノノ紐ニ依ッテ繫ッテ居ル、戰地ノ延長ノヤ
ウナ狀態ヲ持ッテ居リマスノデ、其處ダケ殖
シタイト云フ考デ居リマス、ソレデ後段ノ
御尋ノ三十二條ノ末項デ、勅裁ヲ經テ適當
ニヤレバ行ケルデハナイカト云フ御話モ、
御尤ナノデアリマス從ッテ航空基地、今回ノ
事變ニ於ケル航空基地ト云フモノヲ、是モ
戰地ト云フコトニ勅裁ヲ願ッテ指定ヲ致シマ
スレバ、是ハ一遍ニ解決シテシマフ譯ナノ
デアリマスガ、航空基地ガ是カラ申上ゲル
ヤウニ戰地トスルコトニ、我々國民トシテ
堪ヘラレナイト云フヤウナ部分ガアルノデ
アリマス、ソシナ部分ヲ、戰地ニ致シテシ
マツト云フコトデハ、誠ニ御上ニ對シテ畏

多イト云フ部分ガアリマスノデ、戰地ニ指
定ヲスルコトニ付テ勅裁ヲ願フト云フノハ、
恐懼ニ堪ヘナイト考ヘラレマスノデ、ソコ
デサウデナシニ、戰地デハナイガ、事實上
航空ト云フコトト爆撃ナドト云フコトニ依
リマシテ、ソレガ紐ノヤウナ工合ニナツテ、
戰地ノ延長ミタヤウナ工合ニナツテ居ルノ
デアリマスカラ、戰地外デアルケレドモ戰
地ト同ジニ取扱ッテ、同ジ加算ヲシテ行キタ
イト云フヤウナ考デ、ソレナラ正々堂々ト
法律ヲ改正スル態度ニ出テ行カウト云フコ
トデ參ッテ譯デアリマス、其ノ點ナドハ詳細
ノ點ニ關シマシテ、渡洋爆撃ナドニ關シマ
シテノ實情ヲ聽イテ戴キマス云フト、成
ル程ト云フ風ニ領イテ戴ケルグラウト思ッ
テ居リマス

○委員長(公爵岩倉員榮君) ソレデハ是ヨ
リ秘密會ニ入リマス、委員及議事ニ關係ノ
アル職員ノ外ハ退場ヲ願ヒマス

午前十一時三十分秘密會ニ移ル

○委員長(公爵岩倉員榮君) ソレデハ秘密
會ヲ終リマス、陸軍省ノ政府委員ヨリ御説
明ヲ願ヒマス

○政府委員(大塚彪雄君) 御説明申上ゲマ
ス、恩給法改正法律案ノ理由書ニアリマス

ル、軍人等公務員ガ戰地ニ於キマシテ職務ニ服スル期間、恩給法ニ依ル納金ヲ徵收スルハ著シク困難ナル實情ニアリマスルト云フ點ヲ、是カラ御説明申上ゲタイト思ヒマス、徵收事務ノ非常ニ困難デアリマスル點ヲ申上ゲマスル前ニ、戰地ニ於キマシテ將兵ニ俸給自體ヲ支給スルコトガ非常ニ困難ナル事態ニアルト云フ點ヲ申上ゲタイト存ジマス、御承知ノヤウニ作戰ノ狀況、後方連絡トノ關係ニ依リマシテ、戰場ニ於キマシテハ多數ノ戰死者或ハ負傷者等ガ出マシテ、後方ノ病院ニ輸送ヲサレ、又所在ノ不明ノ者ガ多數出マス、其ノ爲ニ給料ヲ將兵ニ渡シマスルコトガ、事實ニ於キマシテハナカノ想像スルヤウニ簡單ニハ參ラナイノデアリマス、特ニ此ノ給料ヲ支給シマスル業務ニ服シマスル者ハ、召集者ガ大多數デゴザイマシテ、平時ノ職務ノ關係上是等ノ法規ニ精シク通ジテ居リマセヌ爲ニ、支給スル上ニ種々ノ疑問ヲ生ジマシテ、迅速ニ渡スコトヲ躊躇スルト云フヤウナ點モアルヤウデアリマス、又第三ニハ、是等ノ業務ニ服シマスル者ガ出納官吏ト云フ職務ヲ持ッテ居リマスル爲ニ、會計法上ノ辨償責任ト云フモノヲ附加サレテ居リマシテ、其ノ業務ヲ慎重ニスル結果、給料ヲ渡スコ

トニ付キマシテ迅速ヲ缺クト云フ點モアルノデゴザイマス、是等ノ關係カラ致シマシテ、既ニ御聞及ビノヤウニ、戰地デ負傷シマシテ内地ニ後送サレタ將兵ノ中ニ、數箇月ニ亙リマシテ給料ヲ受取ッテ居ラス、内地ニ歸ッテモ迅速ニ給料ヲ受取ラナイ爲ニ、諸種ノ不平等モ洩レテ居リマシタコトガ、作戰ノ初期ニ於テハアツタノデゴザイマシテ、是等ノ爲ニ病院等ニ於キマシテ一二事件等ヲ起シタヤウナ實例モゴザイマス、只今申上ゲマシタヤウニ、給料自體ヲ戰地ニ於キマシテ將兵ニ渡スト云フコトガナカナカ迅速ニ參リマセヌ上ニ、更ニ下士官、將校等ニ於キマシテハ、其ノ給料ノ中カラ國庫納金ヲ引去ッテ渡スト云フコトガアリマスルノデ、此ノ徵收事務ガ著シク困難ニナッテ參ルノデアリマス、其ノ徵收事務ノ困難デアリマスル點ヲ御説明申上ゲマスル前ニ、圖ニ就キマシテ一應申上ゲタイト存ジマス、給料ヲ渡シマス者ハ分任官デアリマシテ、此ノ分任官ハ出納官吏ノ分任官デゴザイマシテ、歩兵隊デ申シマスレバ、各大隊ニ大體付テ居ルノデアリマス、普通デアリマスレバ、此ノ分任官ガ俸給給料ヲ將兵ニ渡シマス際ニ、國庫納金ヲ引去リマシテ收入官吏ニ渡スノデアリマス、サウシテ收入

官吏ハ日本銀行ニ拂込ムト云フ形ニナルノデゴザイマス、此ノ分任官ハ將兵ニ渡シマスル俸給給料ト云フモノハ支出官カラ……是ハ内地ニ居ルノデゴザイマスガ、支出官カラ師團ニ居ル分任資金前渡官ニ資金ノ前渡ヲ致シマシテ、分任官吏ガ更ニソレヲ受ケテ將兵ニ渡スト云フ大體筋ニナルノデゴザイマスガ、戰地ニ於キマシテハ日本銀行ノ代理店或ハ出張所ガアリマセヌ爲ニ、此ノ分任官ガ國庫納金ヲ引去リマシテ收入官吏ニ渡シマシタモノヲ、組替ト云フ制度ヲ執リマシテ、分任官ガソレヲ受取ッテ、恰モ日本銀行カラ支出官ヲ經テ金ノ前渡ヲ受ケタト云フ形ニ整理上仕替ヘテ居ルノデアリマス、其ノ仕替ヘマス仕事ガ非常ニ複雑シテ居ルト云フ實情ヲ是カラ申上ゲタイト存ジマス、恩給ノ國庫納金ハ、恩給法ノ定ムル所ニ依リマシテ、毎月之ヲ徵收致シマシテ國庫ニ納付スベキモノデアリマス、軍ニ於キマシテハ平時及ビ戰時ト雖モ、内地部隊ニ於ケル是等徵收又ハ收入官吏ニ於キマシテ毎月之ヲ引去リマシテ、會計法ノ定ムル所ニ依リマシテ日本銀行ニ納メテ居ルノデゴザイマス、然ルニ戰時戰地ニ於キマシテハ日本銀行ノ設ケガアリマセヌ爲ニ、收入官吏ノ徵收致シマシタ國庫納金ハ、收入官

吏自ラガ日本銀行ニ納付スルコトガ出來ナイノミナラズ、會計法上收入官吏ニ於キマシテ其ノ儘保管シテ置クコトモ許サレテ居リマセヌノデ、軍ニ於キマシテハ前渡資金ニ差繼整理ヲスルト云フ制度ヲ執リマシテ、支拂ヲシテ居ルノデゴザイマス、此ノ方法ハ現金ヲ動かサナイデ、戰地ト内地トノ間ニ納金事務ノ決濟ヲ終ラシメルト云フ特殊ノ方法デゴザイマシテ、戰地ニ在リマスル各收入官吏ガ毎月國庫納金ヲ徵收致シマシタ時ハ、其ノ金額ノミヲ歳入徵收官ノ下ニ通報ヲセシメマス、歳入徵收官ニ於キマシテハ一手ニ日本銀行ニ納付ヲ致シマシテ、別ニ各收入官吏ノ通報シタ金額ト同ジ金額ヲ支出官カラ支出致シマス、ソレハ千圓徵收シマシタナラバ、其ノ千圓ニ相當シマス金ヲ支出官カラ歳入徵收官ニ支出スルノデゴザイマス、各收入官吏ノ通報致シマシタ金額ト同ジ金額ヲ支出官カラ支出ヲ致シマシテ、前渡資金トシテ戰地ノ資金前渡官吏ヘ送金シタト云フコトニ整理ヲ致シマシテ、此ノ支出シタ小切手ヲ以テ歳入徵收官ハ日本銀行ヘ納付スルノデゴザイマス、即チ戰地ノ收入官吏ハ、納付ヲ致シマシタ歳入金ヲ以チマシテ直チニ前渡資金ニ融通ヲ致シマス、サウシテ恰モ支出官カラ前渡資金ヲ受取ッタ

同様ニ整理スル仕組デゴザイマス、併シナガラ
此ノ手續ハ甚ダシク徴收事務ヲ複雑且難解
トスルモノデアリマス、ト申シマスノハ只
今ノ整理ヲシマスル爲ニハ、收入官吏トシ
マシテハ報告ヲ致シマス爲ニ、其ノ都度ノ
報告書、月次報告書、納付金證ト云フモノ
ヲ揃ヘマシテ分任收入官吏ニ報告ヲ致シマ
ス、自分ノ手許ニ於キマシテハ帳簿ヲ此ノ
際ニツ作ルコトニナリマス、分任收入官吏
ハ是ト同様ノ報告ヲ又歳入徴收官ニシナケ
レバナラス、分任官吏ニ於キマシテハ帳簿
ヲ二回附ケマシテ、サウシテ更ニ分任資金
前渡官吏ニ受領證、差繼書ノ報告シテ參リ
マス、又組替ヲ致シマス爲ニ收入官吏ニ於
キマシテハ特ニ組替ノ爲ニ更ニ二回帳簿ニ
記帳ヲシ、分任官ハ組替ヲ受ケマス爲ニ更
ニ二回其處デ帳簿ニ記帳シナケレバナラナ
イ、特ニ戰地ニ於キマスル是等ノ徴收事務
ヲ取扱ヒマスル出納官吏ハ、只今ニ於キマ
シテハ一萬數千人ノ多キニ達シテ居リマス、
作戰行動上一地ニ固定セズシテ相互ノ通信
連絡モ不可能ノ場合ガ多アルノデゴザイ
マス、此ノ事務ヲ取扱ヒマスル出納官吏ノ
大部ハ先程申上ゲマシタヤウニ金錢事務ニ
慣レテ居リマセヌ召集者デゴザイマス、辛
ウジテ俸給給料ノ支給事務ニ耐ヘテ居ルト

申上ゲテモ宜イヤウナ狀況デアリマス、從
ヒマシテ是等ノ複雑ナル國庫納金ノ徴收事
務竝ニ其ノ整理ヲ致スコトハ非常ニムヅカ
シイコトニナツテ居リマス、又通信連絡ノ不
十分ナル戰地ニ於キマシテ、毎月一萬數千
人カラ徴收致シマスル國庫納金ヲ歳入徴收
官ニ通報スルト云フコトハ、事實ニ於キマ
シテハナカ／＼困難デゴザイマス、從ヒマ
シテ事實上ニ於キマシテハ徴收ヲシナイモ
ノモアリ、又徴收ヲ致シマシテ通報ヲ致シ
マシテモ、通報ガ途中デ紛失ヲスルト云フ
モノアルヲ保シ難イ事態ニゴザイマス、此
ノ徴收事務ハ完全ニハ行ハレテ居ラナイヤ
ウナ實情デゴザイマス、此ノ結果徒ニ不慣
デアリマスル召集サレテ居リマス此ノ出納
官吏ノ事務ヲ澁滞致サセ、從ヒマシテ戰地
ニ於テ是等ノ恩給納金ヲ免除シテ戴キマス
レバ、徴收事務ヲ非常ニ簡單ニ爲シ得ルト
云フヤウナ實情ニアル次第デゴザイマス、
之ヲ以テ説明ヲ終リマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 御質問ゴザイ
マセヌカ

○子爵植村家治君 今ノ百分ノ一ノ國庫納
金ヲ免除サレルト云フト凡ソ總額幾ラ位ニ
ナリマスカ

○政府委員(大塚彪雄君) 總額ニ於キマシ

テ六十萬圓前後カト存ジテ居リマス、只今
ノ數ヲ基礎ニ致シマスルト納金額ガ大體六
十萬圓位ニ豫想シテ居リマス

○委員長(公爵岩倉具榮君) 本日ハ此ノ程
度ニ致シマシテ、明日午後一時半ニ開會致
シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(公爵岩倉具榮君) ソレデハ是ニ
テ散會致シマス

午前十一時五十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長	公爵岩倉	具榮君
副委員長	子爵立花	種忠君
委員	子爵植村	家治君
	男爵菊池	武夫君
	加藤敬三	郎君
	赤池	濃君
	平沼	亮三君

政府委員

內閣恩給局長	平木	弘君
法制局參事官	樋貝	詮三君
陸軍主計大佐	大塚	彪雄君

昭和十四年三月十七日印刷

昭和十四年三月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局